

公表

事業所における自己評価総括表（児童発達支援）

○事業所名	放課後等デイサービス サンティバープ南吹田教室		
○保護者評価実施期間	2025年 3月24日 ～ 2025年4月30日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 4
○従業者評価実施期間	2025年4月1日 ～ 2025年4月30日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年5月7日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・ 集団活動、行事をたくさん取り入れている。	・ 季節に合せた製作やレクリエーションを入れることにより、今の時期は、どの季節なのかを理解できる。	・ 製作やレクリエーションを行うことで、子どもたち一人一人が四季を感じてもらえる。
2	・ 異年齢との関わりがある。	・ 幅広い年齢の子どもたちが多く利用しているため、関わりがある。	・ 異年齢との関わりを持つことで、何をしないといけないかの理解を深めていく。
3	・ 子どもたちのわからないことや自立できるように支援している。	・ 子どもたち一人ひとりが身の回りの事が出来るよう、声かけや手助けを行っている。 ・ 子どもたちがわからないことをわかっていけるよう、支援をしていき、成功体験を積んでいく。	・ 自己肯定感を上げていくために、子どもたちのできることを増やしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・ 遊びの幅を広げていく	・ 遊びの内容や玩具の種類が少なく、偏りが多く見られる。	・ 遊ぶ場所や玩具の種類を増やしていき、遊びの幅を広げていく
2	・ 地域の方との交流をする。	・ 地域の行事などの予定を把握できていない。	・ 地域の行事等の予定を把握し、地域の方々との関わりを増やして行く。
3	・ 事業所、園や学校、保護者間との共有。	・ 保護者や相談機関との情報共有があまり出来ていなかった。	・ 積極的にケース会議や、モニタリングにて利用者様について情報共有を行っていく。